

# 【注意事項】 口頭指導マニュアル:心肺停止(成人:思春期以上)2011年

以下の事を念頭に、口頭指導を行なう。

2012.5.10版

## 原則

- 全ての119番通報で「反応と呼吸の確認」をする。
- 容態が変化した場合、再度119番通報するように促す。
- 「頼まれ通報」の場合でも、「反応と呼吸の確認」を依頼し、再度119番通報してもらう。
- 「速やかな胸骨圧迫の開始・絶え間無い胸骨圧迫の継続」に重点を置く。
- 「できるだけ早期の除細動」を目標とする。

- 【注1】・現場に異臭(硫黄臭・腐卵臭)がある場合は、近付かないように指導する。→硫化水素を疑う。  
・通報内容によっては、現場で安全確保させることを最優先とする。  
例;『車の通りが激しければ安全な場所へ移動して下さい。』  
・外傷・吐血・鼻出血など出血が疑われる通報は、まず出血の有無を確認し、血液に触れないように注意を促す。  
・電話を移動できる場合は、あらかじめ傷病者の近くに移動してもらう。  
・電話が移動できず、傷病者と離れている場合、まず【反応・呼吸の確認】を同時に行わせて、再び電話に出てもらう。CPAの場合、『××さん落ち着いて下さい、』以降へ進み、胸骨圧迫は全体を一度に指導する。
- 【注2】・死戦期呼吸を見分ける。死戦期呼吸とは、「アゴをつかった、しゃくりあげるような、ヒクヒクとした呼吸」である。心停止の際にみられる動きであるため、胸骨圧迫を指導する。
- 【注3】・「心臓マッサージ」は「胸骨圧迫」に置き換えてもよい。但し、相手が理解可能な用語を用いる。
- 【注4】・状況に応じて、患者の体位を「床の上に仰臥位」にさせる。  
例;『床に仰向けに寝かせて、顔がまっすぐ上を向くようにして下さい。』
- 【注5】・口頭指導の際、原則として気道確保や人工呼吸の指導は行わない。  
・簡単に除去できる場合以外は、気道異物の除去も指導しない。(心臓マッサージで代用可能。)  
・胸部に血液が付着していることが疑われる場合、血液に触れないよう注意を促す。
- 【注6】・すでにCPRが開始されている場合は、混乱を避けるために、救助者のCPRを修正するような指導は行わない。但し、血液に触れないよう注意を促す。
- 【注7】・パッドどうしが接触しないよう注意を促す。

～全ての通報で反応・呼吸を確認する～

共通の注意事項:【注1】

## 【反応の確認】

反応の確認をします。大声で呼ぶと、返事をしますか？

反応あり

反応なし

## 【呼吸の確認】

呼吸の確認をします。しっかりとした普段通りの呼吸がありますか？〔10秒以内に判断させる〕

呼吸あり

へんな呼吸ではないですか？

【注2】

呼吸正常

呼吸なしor わからない

呼吸異常

呼吸を見守って下さい。  
〔必要に応じて気道確保を指導する〕  
もし呼吸が止まったら  
もう一度119番に電話して下さい。  
電話を切して下さい。

××さん落ち着いて下さい、救急車はもうそちらに向かいました。これから大切な時間です、私の言うことをよく聞いて下さい。

一般家庭からの通報

一般家庭以外からの通報

近くに誰かいますか。

いない

すぐそばにAED(電気ショックの器械)がありますか？

いる

AED(電気ショックの器械)があれば持って来るように頼んでください。届いたらすぐに教えてください。

ない

ある

AEDを持って来て、また電話に出て下さい。

AEDが到着したら、

AEDマニュアルへ

AEDマニュアルへ

あなたは心臓マッサージ(胸骨圧迫)に自信がありますか？

【注3】

ある

【注6】

感染に注意して心肺蘇生を実施して下さい。

ない

これから心臓マッサージの仕方をあなたに教えます。〇〇さんを助けるため私に協力していただけますか？

協力する

協力しない・できない

中止

## 【胸骨圧迫の指導】

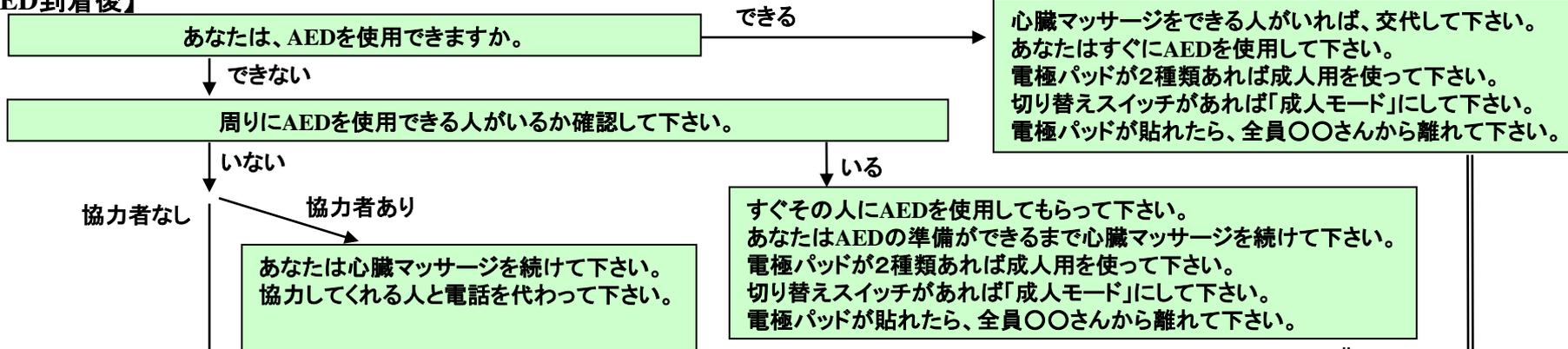
【注4】

では、心臓マッサージの仕方を教えます。【注5】  
胸の真ん中に片方の手のひらを当てて、もう片方の手を重ねます。  
肘をのばして真上から5cm以上沈むように、1・2・3・4・5〔100回/分で言う〕  
くらいのスピードで、強く押して下さい。  
交代できる人がいたら2分ごとに交代しながら、心臓マッサージを続けてください。

救急隊と交代するか〇〇さんが動き出すまで続けて下さい。AEDが届いたら知らせてください。

AEDマニュアルへ

## 【AED到着後】



## 【AEDの使用】

